

徳島市 都市下水路施設耐水化計画

徳島市都市建設部河川水路課

(策定 令和4年 3月)

改定 令和7年 3月

① 基本方針

(対象外力及び対象施設)

○当面对策の対象外力（短期）

最大クラスの津波、高潮に対する抜本的なハード対策の実施が短期的には困難である中、早期のリスク低減を図るため、洪水氾濫（計画規模）と内水氾濫（既往最大）のうち、想定浸水深が大きい方を対象外力に設定し、次の5施設について短期的な対策を行う。

- ・八万ポンプ場：洪水 GL+1.00m（園瀬川 1/100）
- ・矢三東ポンプ場：洪水 GL+1.03m（鮎喰川 1/100）
- ・矢三西ポンプ場：洪水 GL+1.72m（鮎喰川 1/100）
- ・田宮西ポンプ場：洪水 GL+0.97m（鮎喰川 1/100）
- ・田宮北ポンプ場：洪水 GL+1.09m（鮎喰川 1/100）

なお、対象外力による浸水が想定されない4施設（津田中央、津田北部、新浜、名東西ポンプ場）は、対象施設から除くものとする。

○将来の抜本対策の対象外力（長期）

施設の更新時期に合わせるなど、将来的には、最大クラスの津波、高潮を対象とした抜本的対策を行う。

② 対象施設及び対策浸水深

施設名称	施設能力（現有）	影響人口	対象外力	対象確率	対策浸水深
八万ポンプ場	1,872 m ³ /分	約16.0千人	園瀬川 (1級河川)	100年確率	GL+1.00m
矢三東ポンプ場	774 m ³ /分	約6.0千人	鮎喰川 (1級河川)	100年確率	GL+1.03m
矢三西ポンプ場	230 m ³ /分	約3.3千人	鮎喰川 (1級河川)	100年確率	GL+1.72m
田宮西ポンプ場	537 m ³ /分	約7.0千人	鮎喰川 (1級河川)	100年確率	GL+0.97m
田宮北ポンプ場	176 m ³ /分	約1.5千人	鮎喰川 (1級河川)	100年確率	GL+1.09m

③ 確保すべき機能（短期：5年程度）

施設名称	確保すべき機能	対策施設と関連する主要設備機器	備考
八万ポンプ場	揚水機能	・ポンプ棟：ポンプ、原動機、電動機、現場操作盤、受変電設備、自家発電設備	
矢三東ポンプ場	揚水機能	・ポンプ棟：受変電設備、自家発電設備	
矢三西ポンプ場	揚水機能	・ポンプ棟：ポンプ	
田宮西ポンプ場	揚水機能	・ポンプ棟：ポンプ	
田宮北ポンプ場	揚水機能	・ポンプ棟：ポンプ、原動機、電動機、現場操作盤、自家発電設備	

確保すべき機能（中期：5～10年程度）

施設名称	確保すべき機能	対策施設と関連する主要設備機器	備考
-	-	-	-

④ 実施計画（短期：5年程度）

(1)	(2)	(3)	(4)
施設名称	耐水化対象施設	事業内容	備考
八万ポンプ場	ポンプ棟	(土木) 点検孔蓋を耐水型へ更新 (建築) 既存扉を防水扉へ更新、止水板(防水板)の設置、燃料タンクの既存蓋の周囲を嵩上げ (機械) 空気抜き開口の嵩上げ (電気) 水位計開口にフランジ蓋の設置、配管・ケーブル類の貫通孔の止水	
矢三東ポンプ場	ポンプ棟	(建築) 既存扉を防水扉へ更新、止水板の設置、既存の燃料タンク蓋を止水蓋へ交換、窓の部分閉塞(縮小) (機械) 燃料移送ポンプの高所移設 (電気) 配管・ケーブル類の貫通孔の止水	
矢三西ポンプ場	ポンプ棟	(建築) 既存扉を防水扉へ更新、止水板(防水板)の設置、既存の燃料タンク蓋を止水蓋へ交換 (機械) 空気抜き開口の嵩上げ、燃料給油配管更新 (電気) 配管・ケーブル類の貫通孔の止水、機器類の高所移設	
田宮西ポンプ場	ポンプ棟	(土木) 点検孔蓋を耐水型へ更新 (建築) 既存の燃料タンク蓋を止水蓋へ交換 (機械) 燃料移送ポンプの高所移設 (電気) 水位計開口にフランジ蓋の設置、配管・ケーブル類の貫通孔の止水	
田宮北ポンプ場	ポンプ棟	(土木) 床排水部のパッキン交換 (建築) (機械) 空気抜き開口の嵩上げ、燃料給油配管更新 (電気) 配管・ケーブル類の貫通孔の止水、機器類の高所移設	

実施計画（中期：5～10年程度）

(1)	(2)	(3)	(4)
施設名称	耐水化対象施設	事業内容	備考
-	-	-	-